

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2011.12.20 第23号

■ホタル博士、大場信義氏による講演会開催

11/13(日)、富里中央公民館でホタル研究の第一人者 大場信義先生による講演会を開催。約90名の来場者で賑わいました。「ホタルが語る里地・里山の環境目標」と題したお話は、大場先生の地元、横須賀市での保護活動を具体例に、ホタルの発生環境を守る事の意義について



の、とても興味深いものでした。「ホタルを守る事は、平和な社会づくりにつながる」と結ばれた先生の優しい語り口は、心にしみ込むようでした。会場からの数々の質問に、とても丁寧に答えて下さった姿も、印象的でした。お忙しいスケジュールの中を、富里での一日を割いて頂いた事に感謝したいと思います。



●大場先生 天神谷津を視察



▲ホタルの生息について詳しく説明してくださる大場先生



▲先生の手にはいつもカメラが...

講演前に、私達の活動拠点の天神谷津を視察して頂きました。谷津を周回する散策路を巡りながら、我々の活動や整備についての疑問に、次々と明解な指針を示して下さい、今後の道筋がはっきりと見えたように思えます。「人が安心と感じる自然空間は良い環境」「そこに生きる生物の立場で考えて行動」「様子を見ながら少しずつ整備」「あまり力まずに楽しく活動」など...。ホタル発生のための条件づくりについても、具体的なご指導を幾つも頂きました。それらから逸脱する事が無いよう、着実な整備を続けて行こうと思いを新たに、とても貴重な時間となりました。

◆自然観察会&餅つき大会

好天に恵まれた 11/26(土)、成田空港南端にあるグリーンポートエコ・アグリパークで自然観察会が行われました。参加者は11名といつもより少なめでしたが、野草や里山環境に詳しいガイド役の星野国幸さんや荘司宏明さん、鈴木久夫さんの興味深い説明で、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

一方、朝10時頃から中沢区集会場の広場には10数人が集まり、餅つきの準備に大忙しでした。餅つきプロ集団(大熊惣一さん以下3名)の支援があり、杵の使い方などの手ほどきを受けながら、つきたての餅を黄粉、餡子、下ろし大根に付けたり、雑煮で美味しく頂くことが出来ました。お昼前になると、自然観察会を終えた11名が合流し、熱々のもちを何度もお代わりしていました。



▲池のほとりでガイドの説明に耳を傾ける参加者



▲お母さんと一緒に初めての餅つき

■写真講座&コンテスト



▲天神谷津駐車場で講座

10/29(土)、元プロカメラマンの鈴木恵一さんを講師に迎え、秋の天神谷津で開催。まず、写真の基礎について教えを受けた後、15名の参加者が、コンテストの賞品を目指しての真剣な撮影会となりました。一人2枚の応募作品をスクリーンに映し出し、講師の講評を受けた後、1~3位と特別賞の発表がありました。参加者の皆様の天神谷津を捉える視線が、とても多彩である事は驚きでした。「次は春頃に...」との声全員から上がる程の、とても楽しいイベントとなりました。



▲粘った末に、綿毛が飛ぶ瞬間を捉えた1位の作品(深山今朝幸さん)

■昔遊びと自然観察会、富里第一小3年生の総合学習をサポート

富里第一小学校3年生の「総合学習」の授業が、6月に続いて10/24(月)に天神谷津で行われました。今回は観察出来る生き物が少ない時期でしたので、担任の先生の賛同を得て、「昔あそび」を子供達に教えて見ました。笹舟やザリガニ釣り、竹トンボや紙鉄砲、竹ぼっくりなど...。身の回りのものを使った素朴な遊びに



子供達は夢中になり、大騒ぎでした。事前に遊び道具を作ったり、当日、遊び方を教えたりしたガイド役の会員にとっても、数十年前を思い出しながら、大喜びで遊ぶ子供達と一緒に過ごし、幼き日が蘇ったような心地よい時間となりました。



▶ザリガニ釣りに夢中



▶次々と空高く飛んで行く竹トンボ



▶竹ぼっくりもあつとつ間に上達

■第5回通常総会のお知らせ

第5回通常総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多忙中まことに恐縮ですが、ご出席下さる様お願いいたします。

- 日時... 2月5日(日)午後1時30分~3時30分
- 会場... 中沢区集会場 (富里市中沢、向台幼稚園となり)
- 議事... 事業報告、収支決算報告、監査報告、事業計画、収支計画など
- * 総会終了後、4年間の私達の活動をスライドショーで紹介する予定です。



▲前回の総会風景

★天神谷津★

いのち 生命のにぎわい

マユミ (真弓) 10/29 撮影

天神谷津も秋の深まりとともに、ほとんどの草本類が観察されなくなりました。そんな中で、紅葉とともに目を楽しませてくれるのが、色づいた果実です。今回紹介する「マユミ」も紅葉と果実が楽しめる植物です。マユミはニシキギ科ニシキギ属の落葉低木植物で、北海道から九州まで広く分布しており、天神谷津にも数か所分布が確認されています。マユミは漢字で真弓と書き、木質が緻密でゆがみが少なく丈夫なため、弓をつくる材として用いられたところからこの名前がつけられたとの説があります。マユミの果実は倒三角形で四つの稜があります。最初ピンク色ですが、やがて4裂して中から赤い皮に包まれた種が顔を出します。ちなみに同じ仲間のニシキギは果実が5裂するため、裂果するとき注意深く観察すれば容易に区別できますので参考にして下さい。(文: 荘司宏明)



(写真: 井ノ口迪夫)

会員紹介

ねごき けんし 根崎 賢治 さん (60才)



霞ヶ浦の北岸の生まれで、谷津田や水路の多い里山そのものが生活フィールドといった環境で育ちました。夏には空を埋め尽くすほどのホタルがいて、遊び場であった山野の木の実やニッキの根を食べ、時には小鳥を自作の罠でつかまえたりする少年時代でした。また山は、燃料としての薪の生産地でしたから、薪割りや下草刈りは辛い仕事でしたが、山で食べるお弁当はまた格別なものでありました。現在は、東京の真真中で緑地管理を主とした仕事をしていますが、今後は、より環境に負荷のかからない(減農薬等)方法で、リサイクルをも視野に入れながら(浦安市で年間1,500m³の剪定堆肥作りに参加しています。)都会での里山作りが出来たら、と考えています。仕事柄、会の活動にあまり参加出来ないことを心苦しく思っておりますが、この環境を次世代に引継ぐという、身近な里山を保全する活動に、楽しみながら協力させていただければ幸いです。

会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル 開設、アクセスお待ちしています !! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタル発生のための環境保全活動を行っています。活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費: 2000円)

現在の会員数: 0144

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161